

「エクストリームシリーズ」というレースをご存じかな？ 私にとって、究極のレース。今年の夏、このレースに参加してしまった。さてどんなレースか？

まず、マウンテンバイクを持って、3人一組で参加。スタート前に2万5千分の1の地図を渡される。地図に、十数カ所のチェックポイントの印がついている。このチェックポイントを発見し、どういう道順・方法を使っても良いから、3人ですべてのポイントを回って来いというのだ。

さあスタート！ いきなり、標高差約600メートルの山をマウンテンバイクで登る……と簡単に書いたが、なんせ山道だ。途中から、担いで登ることになる。フラフラになって、やっと登頂。が、しかし、今度はいっきに海まで下る。さらに自転車を手放し、十数キロのマラソンだ。そして最後の仕上げに急坂を再び自転車で登り、ゴール。自分たちでチェックポイントを発見し、回りながら、このメニューをこなすのだ。完走に7時間半かった。

何だか皆さんにお伝えしているだけで、苦しくなってきた。

このスポーツを敢（あ）えて表現するなら、トライアスロンの野生版とも言おうか。特に3人の気力とチームワークが大切だ。レース途中、チェックポイントを見失うことがよく起こる。その時、

今来た道に戻る勇氣と気力が試される。3人で励まし合いながらの闘いだ。

「そんな競技、私と無縁だな」と思われたあなた！ 実はこの競技、女性もたくさん出場しているし、53歳の私より年配の参加者もいる。要は、3人で参加して楽しもうということなのだ。ショートカットコースも設定されているし、完走できないチームもある。

じゃあいったい何が面白いかって？ 後日、3人はこの究極のレースの話で持ちきり。苦しさを乗り越えた自分たちが嬉（うれ）しいんだね。

【朝日新聞・マリオン】

2006年12月6日掲載